

Koka TIMES

— 心を磨き、技を極め、夢に挑む —



本学体育館での学内企業説明会

ARLISS 国際 CanSat 大会で世界一 「ぼうさい甲子園」で奨励賞

- CAD 利用技術者試験 1 級 総合得点で全国1位
- 次期 AUTcube の開発スタート
- 各センターからのお知らせ
- 2020 年度(前期)行事予定表

編集/発行
愛知工科大学
愛知工科大学自動車短期大学
入試広報センター
〒443-0047
愛知県蒲郡市西迫町馬乗 50-2
TEL. 0533-68-1135
URL. <https://www.aut.ac.jp/>

ロボットが砂漠を自律走行でゴールへ ゴールにピッタリ密着。誤差 0m

ローバ(無人探査機)が自律走行して砂漠のゴールを目指す競技大会、「ARLISS 2019」(A Rocket Launch for International Student Satellites) [国際 CanSat 大会] がアメリカのネバダ州ブラックロック砂漠で9月9日(月)～12日(木)に開催され、大学院工学研究科2年 秋山実穂さんの製作したローバが、ゴールまでの距離0mを達成して世界一となりました。

競技は、小型ロケットで4,000m上空から放出されたローバが、パラシュートなどで減速して着地後、自律走行でゴールを目指すものです。

秋山さんは2016年にGPSを利用したローバで、ゴールまでの距離5.81mに到達して3位となりました。その後、さらに高精度な判断を行うため、画像認識の技術(Deep Learning)を採用して研究を重ね、2018年の種子島ロケットコンテスト CanSat 部門では、GPSと画像認識による自律制御で、ゴールまで0mを達成して優勝を果たします。

今大会は、この技術をさらに磨いての挑戦です。8月末、秋山さんを研究指導されていた齋藤卓也准教授が本学を退

職され、湘南工科大学に着任したことから、チーム名「湘南工科大学 齋藤研究室 SuperNOVA」として出場しました。

小型ロケットによる放出は3回行われ、いずれも砂漠への着地とパラシュートの分離に成功。GPSを受信してゴールへと向かいました。ゴールに近づくと画像認識プログラムが作動してゴールを確認し、目印を捉えました。結果は、1回目0.05m、2回目0m、3回目0mと、他チームを圧倒する記録での1位でした。

このほか、Accuracy Award 1位、Best Mission Award 1位、Overall Winner 1位、Technical System Award 2位と4つの賞も受賞。世界でその実力が証明されました。



「ぼうさい甲子園」で奨励賞を受賞

優れた防災教育や活動を顕彰する令和元年度1.17防災未来賞「ぼうさい甲子園」(主催:兵庫県、毎日新聞社、ひょうご震災記念21世紀研究機構)において、情報メディア学科 板宮研究室(板宮朋基教授)が「奨励賞」を受賞しました。今回で4年連続の受賞です。

バーチャルリアリティ(VR:人工現実感)や拡張現実(AR)を用いた災害疑似体験アプリ「Disaster Scope」や「VR地震列島」の開発と、自治体や小中高校で

の防災訓練における実用を継続して行っていることが高く評価されました。

1月12日(日)に兵庫県公館で行われた表彰式では、研究室を代表して情報メディア学科3年 平川俊貴さんが賞状を受け取りました。受賞内容は毎日新聞で報道されました。



2019年度 板宮研究室メンバー

4年生 新聞幹久、杉江駿、西部連、小林勇輝、近田静也、富田祐規、宮本侑都
3年生 松崎純也、李卓学、林啓介、平川俊貴、山下純弥

2次元 CAD 利用技術者試験 1級 機械部門 総合得点全国1位で合格

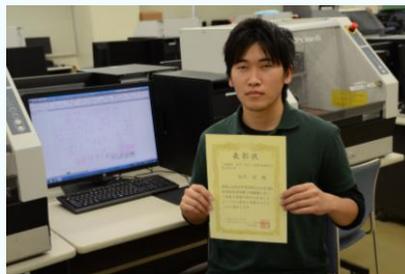
2019年度前期2次元CAD利用技術者試験1級 機械部門において、機械システム工学科3年 谷川諒さんが、大学・短大・高専の部で最も優秀な成績を修め、(一社)コンピュータ教育振興協会より表彰を受けました。

2次元CAD利用技術者試験1級は、機械系のCADシステムを操作できるだけ

でなく、設計の補助業務を担い、将来設計者やオペレータの管理業務を目指すための資格です。

試験は、CADシステムを使用した実技問題と機械分野の専門知識を問う筆記問題を80分で解答する試験でした。

谷川さんは、この技能を来年の卒業研究に活かしたいとのことでした。



IoTシステム技術検定中級に合格者

「IoTモノづくりコース」を履修する電子制御・ロボット工学科3年 廣野敦士さんが、モバイルコンピューティング推進コンソーシアムのIoTシステム技術検定

中級(IoTエキスパート)に合格しました。この資格は、IoTシステム全体を俯瞰しつつ顧客の要求または提案の要点を的確に把握でき、システム構築の概要を

描く技能を有することを示す資格です。また、同コンソーシアムのIoTシステム技術検定 基礎には3名が合格。今後、上級試験へのチャレンジが期待されます。

他大学と研究室間交流

機械システム工学科 荒川研究室(荒川俊也教授)では、他大学の学生の研究を知ることにより、学生自身に、自分の優れている点や未熟な点、これから伸ば

していくべき点を把握してもらうことを目的として、12月26日(木)、日本工業大学 生駒研究室、宮川研究室との合同ゼミを行いました。

今回の合同ゼミは研究会も兼ねて開催され、ゼミ後の意見交換会では、学生間で技術に関する議論が活発に行われてとても刺激になったようです。

マネキンにプロジェクションマッピング

電子制御・ロボット工学科 永野研究室(永野佳孝教授)の高速画像処理技術を駆使して桜美林大学 杉森順子教授(美術)と開発したプロジェクションマッピングシステムが、(株)パールマネキンの東京スクエアショールーム「ACTIVE STORE」での新たな空間演出に使われています。

このシステムは、自由曲面の計算を瞬時にに行い、立体物にあわせた映像を簡単に投影することができます。さらに、投影は専用機器ではなく簡易的な機器を使用するため、低コストです。

マネキンに照射することでのリアルな表現で、新たな可能性が広がります。



パールマネキン東京スクエアショールーム
<https://youtu.be/4g4uQDaJP88>

次期「AUTcube」の開発スタート

宇宙システム研究所(西尾正則教授)は次期AUTcube(人工衛星)の開発を地元企業連合と12月からスタートしました。この人工衛星は、学生が卒業研究で開発した動画カメラによる光通信技術と、多段展開のソーラーパネルによる姿勢

制御の実験が目的です。動画カメラによる光通信技術は、LEDの細かな点滅(1秒間に60コマ)をカメラでとらえてデータ通信を行い、将来は衛星間通信への利用も考えています。また、姿勢制御のために3段展開

機構を備えるソーラーパネルは、宇宙システム研究所が設計し、複雑な機構を地元企業が製作します。今後、2022年の打ち上げを目指し、地上から400~500kmの軌道で3等星ほどの光を放つ予定です。

大型車の車輪脱落事故撲滅を目指す

大型車の車輪脱落事故は2012年度の15件から2018年度の81件へとほぼ毎年増加しており、人身事故も含まれています。国土交通省は関係団体に対して、ホイール脱着時の関連部品の清掃や潤滑、適切な工具を用いた規定トルクでの締めつけ、ホイール交換後の増し締めなどの徹底を通達していますが、脱落事故は後を絶ちません。短期大学自動車工業学科の服部幸廣准教授、甲村一貴助教、巨藤誠助手の研究グループは、JIS規格およびISO規格の

ホイールを対象に、これらを取りつけるボルト、ナット、ホイールの潤滑箇所や潤滑剤を変えた場合や、スチール・ホイールを誤ってアルミ・ホイール用のボルトで取りつけた場合のホイール・ボルトに生じる軸力(ホイールを保持する力)を測定し、たとえ適正なトルクで締めつけても、適正な潤滑剤の塗布や組みつけ作業がなされなければ、ボルトの軸力が過大または不足することが定量的にわかってきました。

この研究成果は、2年次のトラック整備実習で説明し、ホイール脱着を伴う整備の重要性、すなわち整備不良の危険性の教育に活かされています。



AUT INFORMATION

お知らせ

学務課

○教育懇談会

教育懇談会は、本学と保護者との連携のもとに相互理解を深め、学生への指導に役立てるために毎年実施しています。

2019年度は6月29日(土)～7月14日(日)の間に富山、金沢、福井、松本、飯田、長浜、高山、郡上、熊野、伊勢、静岡、浜松、石垣、宮古島、那覇の15都市で開催し、10月1日(火)～13日(日)の間は本学で実施しました。本学会場の期間中は台風の影響により、止む無く中止や電話対応とさせていただいた方もいらっしゃいましたが、大学院、大学、短期大学あわせて483名の保護者が参加されました。ご協力いただき、ありがとうございます

いました。

2020年度も、本学をはじめ各都市で教育懇談会を開催します。

○通学許可車両の厳格化

昨年9月に本学学生が関係する交通死亡事故がありました。このような重大事故を二度と学生のなかから出しては行かないと決意し、車両通学の学生に対する指導体制を見直しました。

これまで、車両通学希望者に対して、運転免許証、自動車検査証、任意保険証などの書類確認により許可していましたが、2020年度からは書類確認のほか、運転適性検査および車両検査を実施し、許可され

た者の車両通学を認めることとなります。

また、騒音や運転マナーなどで近隣住民に迷惑を掛けないように学生指導にも取り組んで参ります。

○交通安全意識醸成の取り組み

先に記載の事故もあり、交通安全意識を醸成するため、学内における学生指導はもちろんのこと、新年度から本学教職員が、地元の青色防犯パトロール活動や全国交通安全運動期間にあわせて、地元の交差点に立ち、交通安全運転を呼びかける活動を実施します。

誓いは一つ、「このような事故を二度と起こしては行かない」。

| 2020年度教育懇談会開催予定 | 地区 | 開催都市 | 日程 | 地区 | 開催都市 | 日程 |
|-----------------|-----------|---------|----------|----|----------|-----------|
| | 甲信越 北陸 | 富山県 富山市 | 7月4日(土) | 東海 | 静岡県 静岡市 | 7月5日(日) |
| | | 石川県 金沢市 | 6月27日(土) | | 静岡県 浜松市 | 7月4日(土) |
| | | 福井県 福井市 | 6月28日(日) | 沖縄 | 沖縄県 石垣市 | 7月11日(土) |
| | | 長野県 松本市 | 6月27日(土) | | 沖縄県 宮古島市 | 7月11日(土) |
| | | 長野県 飯田市 | 6月28日(日) | | 沖縄県 那覇市 | 7月12日(日) |
| | 東海 | 岐阜県 高山市 | 7月5日(日) | 本学 | 愛知県 蒲郡市 | 10月1日(木) |
| | | 三重県 伊勢市 | 7月11日(土) | | | 10月14日(水) |

事務局

○学科名称と入学定員の変更について

工学部電子制御・ロボット工学科は、2021年4月より電子ロボット工学科に名称を変更します。2021年4月から入学生と在学生に適用されます。

これに伴い、電子ロボット工学科の入学定員は65名、情報メディア学科の入学定員は85名となります。

○学生駐車場入庫ゲートを設置

学生が車通学に利用する西側駐車場の入り口に入庫ゲートを設置します。

○次世代自動車システム研究所に名称変更

2020年4月より本学の附属施設である高度交通システム研究所を、新しい自動車のあり方を研究する「次世代自動車システム研究所」に名称変更します。

○スクールバスの増便について

朝の混雑を解消するため、2020年4月より、蒲郡駅南口発のスクールバスを増便いたします。

スクールバスの時刻表は、ホームページでご確認ください。

○学生食堂メニューの料金改定

2020年4月より、一部のメニューについて値上げします。

| | |
|--|-----------|
| 日替わりランチ | 410円→440円 |
| 唐揚げ定食 | 410円→440円 |
| 楽食ランチ | 410円→440円 |
| 麺類 | 310円→340円 |
| 新メニュー「おまかせランチ」380円が加わります。(当日にメニューが決まります) | |

○4号館、体育館の外壁改修

4号館と体育館の外壁改修を行いました。また、各号館をつないでいる回廊も改修します。

総合教育センター

総合教育センターは、初年次教育、基礎教育など、すべての学科にまたがる共通教育の核となっており、各学科、各センター、学務部および短期大学とも連携して活動しています。

新入生には、入学早々に数学と英語のプレースメントテストを実施し、クラス編成を行います。新入生が自分に最も適したクラスで学習し、意欲、人間性、能力を最大限に伸ばしていくことができるようにするためです。上級生にはアチーブメントテストを実施して、自身の知識向上と定着を図ります。

また、新入生は、4月に蒲郡市や幸田町近辺の工場見学を行います。これを通

じて技術者としての将来像を体感し、現場におけるモノづくりの意味を知り、グループ討議で見学の成果を共有します。これは、自らが主体的に学修するアクティブラーニングの第一歩であり、本学に進学した意味と目的をしっかりと確認するよい機会にもなっています。さらに、教員や、先輩、仲間との距離感を縮め、親しい友人をつくるきっかけにもなります。

授業では、仲間とともに課題に向かい協力して解決するグループワークを多く取り入れています。これにより、問題に向かう意欲、それを解決する能力を仲間とともに向上させ、社会に出て必要となる周囲の人々と協力できる人間性を養

うことができます。

さらに、大学での学びを円滑に進めるために、個別指導とオフィスアワーによる課外学習支援を行っています。

個別指導では、総合教育センター内で、一人ひとりの学力レベルや目標に応じて、基礎科目を納得いくまで指導します。個人でなくグループでも利用できます。

オフィスアワーは、教員の研究室を訪問し、理解が難しかった内容の質問や、学問以外の相談をする時間です。各教員のオフィスアワーの時間帯や指導内容などの一覧表は各学科の掲示板に掲示してあります。積極的に活用し、学力向上に役立ててください。

図書館

○学生リクエスト図書の受け入れについて

2019年度、学生のリクエストにより約40冊の図書、試験問題集を受け入れました。今回は、資格試験や進学のため学習内容の理解を深めたいなどといった意欲的な理由により購入したものが多数ありました。

図書館では、皆様からのリクエストを随時受けつけています。欲しい本、読みたい本のある方は、理由、ジャンルは問いません。図書館入口左手のリクエスト用紙に必要事項を記入してリクエストボックスに投函するか、図書館職員にお渡しください。図書委員会にて検討の上、受け入れを決定します。

なお、受け入れが決定した図書は、図書館の掲示板でお知らせします。

○新着図書を受け入れました

2020年2月に新着図書、試験問題集など136冊を受け入れました。これらは、各学科の先生方の希望や推薦によるものです。講義や学習の参考となるものだけでなく、さまざまなジャンルの本を受け入れました。

特に今回は自動車関係の図書として、交通事故や運転技術についての新しい資料を受け入れました。

新着図書は学生リクエストの新着図書と一緒に書架番号3番に配架してあります。

なお、35冊受け入れた英語多読の新着図書は書架番号1番にあります。どうぞご利用ください。

おすすめの本

AI エンジニアのための 統計学入門

著者：荒川俊也
(機械システム工学科)



AIや機械学習のアルゴリズムを理解するために、なぜ基礎的な数学や統計が必要なのか。この本は、その必要性を説明した上で、「確率の基本」「ベイズ推定と最尤推定」「微分・積分の基本」「線形代数の基本」「重回帰分析」「最適化問題の基礎」に絞り、統計学を説明しています。

AIエンジニアに必要な統計学の「超基礎」から「基礎」、「実践」への橋渡しとなる一冊です。

メディア基盤センター

○インターネット回線の増速により 教育・研究環境が向上

2019年12月に学内から接続するインターネット回線に2Gbpsの回線が増速されました。増速前は集中アクセスによる一部遅延が発生していましたが、新たに2Gbpsが増速されたことにより、快適に利用できるようになりました。

さらにインターネット回線の利用状況にあわせて、回線の負荷分散をする

技術が導入され、安定した高速通信が可能になりました。

○携帯メール配信サービスの登録と 情報修正のお願い

メディア基盤センターでは、学生・教職員を対象とした、緊急連絡と災害時における安否確認を目的とするメール斉配信サービスを運用しています。簡単に登録できますので、未登録の学生は必ず

登録をしてください。また、3月末に学年情報の進級処理を一括で設定します。クラスおよび学年は、自動的に持ち上がり修正となります。新年度にクラスが変更となる学生は、個別に登録情報の修正をお願いします。なお、卒業年度生は一括で削除されますので個別に設定の必要はありません。登録および修正方法が不明な場合は、メディア基盤センター事務室前の掲示板をご覧ください。

ものづくり工作センター

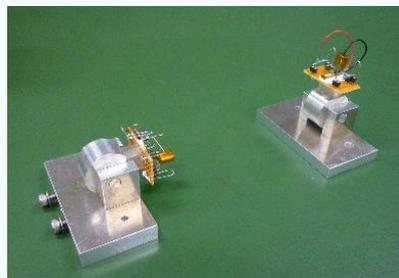
私たちの生活には、AIやIoTなどの先進技術が実用化されはじめており、技術改革のスピードが加速しています。このような状況において、時代のニーズにあう先駆的な技術や知識を在学中に理解し習得することは難しくなっています。そこで、ものづくり工作センターでは、これらの次世代技術を講義や卒業研究を通して効率よく学ぶための機器づくりをサポートしています。

機器の製作は、永年自動車産業界で腕を磨き、当センターに勤務する技術者が担当しています。

右の写真は、機械システム工学科 松浦研究室が設計し、当センターで製作したレーザおよびセンサです。4つの自由度をもつステージを利用し、測長や検出を行うことができます。

これらは研究室での実験において、ナノからマイクロスケールまでの微粒子

の数や大きさ、濃度検出に活用されています。



地域・産学連携センター

蒲郡市、幸田町との産学官連携による「三河中央『人・モノ・地域づくり』コンソーシアム」は平成26年に発足以来、さまざまな連携事業を行っています。「幸田ものづくり研究センター」と協力し、地元企業との連携やIoT技術の普及を図りました。蒲郡市との連携事業では「がまごおり産学官ネットワーク会議セミナー」を2月4日(火)に開催し、工学部機械システム工学科の荒川教授による「自動

運転は有益か?」の講話を行い、モノづくり企業への新技術の促進に努めました。

県内高校との連携では、愛知県教育委員会による「あいちSTEM教育推進事業」に採択された研究指定校(豊橋工業高校、岡崎工業高校)とさまざまな連携事業が実施されました。また、愛知総合工科高校と連携して小型ロケットやカンサット技術の講座を基盤に「あいち宇宙イベント」を企画。STEM関連高

校からの連携参加もあり、理工系人材の育成を推進しました。



がまごおり産学官ネットワーク会議セミナー

キャリアセンター

■学生と企業の交流イベントを開催

東三河の企業の紹介と地元で働く魅力を知り、就職について考える場として、学生と企業の交流イベントを3回開催しました。参加した工学部の学生(1~3年)は、企業の社長や採用担当者から社会人としての心構えや仕事内容に加え、通常の説明会では聞くことができない体験談など、直接話を伺うことができました。

学生からは、「大学での学びが活かせるか」「希望の職種に就けるか」など積極的に質問が出ていました。

参加後の感想としては、「自分が知りたかったことが聞けた。」「説明会では聞きにくいことが聞けてよかった。」「質問に対しては、完璧な回答だけでなく、思っていることをしっかり伝えることが大切であるとわかった。」など大変好評でした。

1、2年生にとっては、早期に社会人との交流ができ、3年生には就活前の企業研究として有意義な場となりました。開催した交流イベントは次の通りです。

●モグジョブ

学食でランチを食べながら、学生と企業が交流するイベントを開催。

主催：蒲郡商工会議所、(株)タスキ
開催：2019年12月12日(木)

企業：(株)ニデック、(株)近藤鐵工所、伊藤光学工業(株)、(株)蒲郡製作所、(株)マップクエスト

●まじカフェ

飲み物を片手に、学生と企業が交流するイベントを開催。

主催：東三河広域連合

開催：2020年1月16日(木)

企業：(株)蒲郡製作所、トリニティ工業(株)、(株)マナック、(有)山徳金属、ユタコーポレーション(株)、(株)加藤カム技研、(株)陣内工業所、新日工業(株)、(株)トウエイ製作所

●東三河の魅力企業スタディープログラム

就活に役立つ企業研究ワークショップ
主催：愛知県 東三河県庁(東三河総局)
開催：2020年2月6日(木)

企業：(株)オノコム、(株)堀江設計事務所、ミカワリコピー販売(株)



東三河の魅力企業スタディープログラム

■学内企業説明会(整備職)の開催

短期大学1年生および工学部機械システム工学科1級整備士養成課程3年生を対象として、12月5日(木)と6日(金)に学内企業説明会(整備職)を開催しました。

当日は、後援会「愛技会」に加入する企業168社が参加し、リクルーターとして多くの卒業生が来られました。参加した学生は熱心な説明に聞き入り、一生懸命メモを取っていました。

研究室訪問

— 電子制御・ロボット工学科 裴研究室 —

裴研究室(福祉・リハビリロボット研究室)では「人間の運動・動作の解析」、「リハビリ運動とリハビリロボットに関する研究」および「触覚あるロボットハンド」の研究を行っています。

1. 人間の運動・動作の解析

ヒト支援機器を開発するためには、人間の動作や運動の特性を知ることが必要です。また、工学の方法を用いて運動の力学を解析するだけでなく、身体が本質的に内在している「機構」を解明することも重要になります。例えば扁平足であると、路面からの衝撃吸収がよくないため、足が疲れやすく長時間の歩行が難しくなります。そこで、扁平足の問題を解消するためにインソールを開発しようと考えています。しかし、低アーチ足と正常アーチ足との衝撃吸収機能の違いは明確にされていません。これを明らかにするため、膝に錘をかけ、舟状骨の変位を計測(図1)して、システム同定による低アーチ足と正常アーチ足の衝撃吸収特性をその機械的特性値(アーチの粘性、弾性)(図2)によって定量的に比較します。

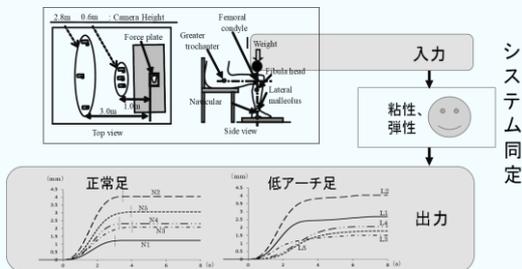


図1 舟状骨変位と床反力の値を計測

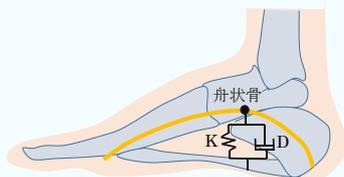


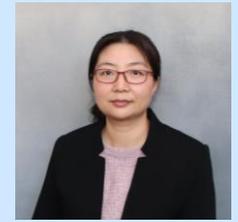
図2 足の粘弾性モデル

2. リハビリ運動に関する研究

骨・関節・筋肉・神経などの身体を支え、動かす組織、器官を運動器と呼びます。運動器疾患になった場合、運動療法や物理療法がよく使われ、身体機能を可能な限り改善することを目的とします。運動器系のリハビリテーションを行う時、二次傷害や痛みを防ぐため、できるだけ不必要な負荷が患部にかからないようにする必要があり、症状や患部に応じて適切な運動軌道と負荷を選択することが重要です。

Profile

裴 艶玲
准教授・博士(工学)



[専門] 筋骨格モデル/
リハビリロボット
[経歴] 中部大学ロボット理工学科
東北大学医工学研究科
名古屋大学エコトピア科学研究所

筋骨格系の数値モデルを用い、逆動力学と運動学の計算より身体の筋、骨格、関節に作用する力学的な負担を解析して、リハビリシステム・支援機器(図3)の開発、評価の研究を行っています。



図3 ミラーセラピー

3. 触覚あるロボットハンド

人間の皮膚に受容細胞が存在していて、モノとの接触や温度、粗さ、重量などを感じることができます。ロボットハンドに受容細胞のようなものが付き、ロボットハンドに触覚を持たせることによる、自動化の推進を目指しています。

食品産業における加工食品(弁当、総菜、冷凍食品)では、原料の処理、1次加工、2次加工(トッピングなど)、準備・配合、小物成型などが人手で行われています。加工食品の工程で自動化が進んでいない作業は、人の手の視覚と触覚とそれらに基づく選択や調整、ハンドリング、ピック&プレイスなどであり、自動化された機械の間に位置する中継処理的な性格を持つところです。

そこで、触覚センサを指先に持つロボットハンド(図4)の制御に触覚センサの情報を使うことによって、多様な食品をハンドリングし、同時にそれらの重量や温度の計測も行うシステムを設計開発します。

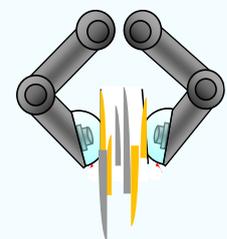


図4 触覚センサ付きロボットハンド

裴研究室に所属する学生の卒業研究テーマは、基本的には学生の希望に応じて決まります。一年間の努力で、自らに問題発見と解決の能力を養成することを追い求めています。

2020年度(前期)行事予定表(4月~9月)

※学内における諸事情により、予定を変更することがあります。オープンキャンパスは、主に高校生を対象としたイベントです。

大学

| | 行事 | 日程 |
|------|-------------------------------|---------------|
| 4月 | 入学式 | 2日(木) |
| | オリエンテーション | 2日(木)~7日(火) |
| | 健康診断 (K科4年, R科1年・2年・3年, J科3年) | 6日(月) |
| | 履修登録 (4年・1年, R科2年・3年, J科3年) | 6日(月) |
| | クラブ紹介 | 6日(月) |
| | 健康診断 (K科2年・3年, J科1年・2年) | 7日(火) |
| | 履修登録 (K科2年・3年, J科2年) | 7日(火) |
| | 健康診断・履修登録 (1年, K科2年, J科2年) | 7日(火) |
| | 編入学者認定申請 | 7日(火) |
| | 1年 企業見学 | 16日(木) |
| | 学修奨学金授与式 | 17日(金) |
| | 1年 社会研修 | 21日(火) |
| | 留学生とのつどい | 24日(金) |
| | 5月 | 4年 就職活動調査 |
| 6月 | 教育懇談会(松本・金沢) | 27日(土) |
| | 教育懇談会(福井・飯田) | 28日(日) |
| 7月 | 教育懇談会(富山・浜松) | 4日(土) |
| | 教育懇談会(高山・静岡) | 5日(日) |
| | 教育懇談会(伊勢・石垣・宮古島) | 11日(土) |
| | 教育懇談会(那覇) | 12日(日) |
| | オープンキャンパス | 18日(土) |
| 定期試験 | 31日(金)~8月7日(金) | |
| 8月 | オープンキャンパス | 1日(土) |
| | オープンキャンパス | 2日(日) |
| | 英語学研修 | 8日(土)~9月8日(火) |
| | 学生夏期休業 | 9日(日)~ |
| 9月 | 1級課程 オリエンテーション・履修登録 | 3日(木) |
| | オープンキャンパス | 5日(土) |
| | オリエンテーション・履修登録 | 14日(月)~16日(水) |

※K科：機械システム工学科 R科：電子制御・ロボット工学科
J科：情報メディア学科

短期大学

| | 行事 | 日程 | |
|---------------|------------------------------|------------------|--------|
| 4月 | 入学式 | 2日(木) | |
| | 1年 オリエンテーション | 3日(金)、6日(月) | |
| | 2年 オリエンテーション | 6日(月) | |
| | クラブ紹介 | 6日(月) | |
| | 2年 就職活動調査 | 6日(月) | |
| | 1・2年 健康診断・実習ガイダンス | 7日(火) | |
| | 学修奨学金授与式 | 17日(金) | |
| | 留学生とのつどい | 24日(金) | |
| | 5月 | 大学編入学説明会 | 11日(月) |
| | | オープンキャンパス | 16日(土) |
| オープンキャンパス | | 30日(土) | |
| 6月 | オープンキャンパス | 13日(土) | |
| | 2年 就職活動調査 | 19日(金) | |
| | 教育懇談会(松本・金沢) 教育懇談会(福井・飯田) | 27日(土) 28日(日) | |
| 7月 | 教育懇談会(富山・浜松) | 4日(土) | |
| | 教育懇談会(高山・静岡) | 5日(日) | |
| | 教育懇談会(伊勢・石垣・宮古島) | 11日(土) | |
| | 教育懇談会(那覇) | 12日(日) | |
| | オープンキャンパス | 18日(土) | |
| 定期試験 | 21日(火)~28日(火) | | |
| 成績発表・選択科目履修登録 | 31日(金) | | |
| 8月 | オープンキャンパス | 1日(土) | |
| | 英語学研修 | 8日(土)~9月8日(火) | |
| | 学生夏期休業 | 9日(日)~ | |
| | オープンキャンパス | 22日(土) | |
| 9月 | 2年 オリエンテーション | 3日(木) | |
| | 2年 ビジネスマナー講演会 | 3日(木) | |
| | 2年 就職活動調査 | 3日(木) | |
| | オープンキャンパス | 12日(土) | |
| | 1年 オリエンテーション | 16日(水) | |
| | 1年 総合就職実力模試 | 16日(水) | |
| 1年 就職ガイダンス | 17日(木) | | |
| 1年 自動車メーカー講演会 | 23日(水)、24日(木)、28日(月) | | |

大学院

| | 行事 | 日程 |
|----------|-------------------|--------|
| 4月 | 入学式 | 2日(木) |
| | 1年 オリエンテーション | 2日(木) |
| | 健康診断 | 6日(月) |
| | クラブ紹介 | 6日(月) |
| | 2年 オリエンテーション | 7日(火) |
| | 履修登録 | 7日(火) |
| 留学生とのつどい | 24日(金) | |
| 5月 | 博士前期課程 履修・研究計画書提出 | 29日(金) |
| | 博士後期課程 研究計画書提出 | 29日(金) |
| 8月 | 学生夏期休業 | 9日(日)~ |
| 9月 | オリエンテーション・履修登録 | 8日(火) |

※大学・短期大学と同じ日程で教育懇談会を開催します。